

令和7年度「ちばっ子の学び変革」推進事業  
研究状況報告書< 算数 >



そうさ

きょうこう

匝瑳市立共興小学校

そうさ

匝瑳市について(令和7年12月時点)

人口 32,701人

学校数 小学校 10校

中学校 3校

「匝瑳市」は、『日本の珍地名』  
の中で、難読地名番付・東の横綱  
として紹介されています。



きょうこう

## 共興小学校について

◆児童数 62名

◆学級数 全8学級

(各学年1クラス・特支2クラス)



## 学校教育目標

やさしく かしこく たくましい子の育成



共興小HP

## <資料の内容>

(1) 研究の概要

(2) 1年目の取組

(3) 研究の成果・課題

事後アンケートより(児童、教職員)

(4) 次年度の研究の方向性について



## (1) 研究の概要

### <研究主題>

「主体的に考え、思考・判断・表現  
をする子の育成」

～問題文の状況をイメージし、課題を見いだすことで

自力解決できる算数科指導の工夫～

# (1) 研究の概要

<研究主題>「主体的に考え、思考・判断・表現をする子の育成」

## 「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラム

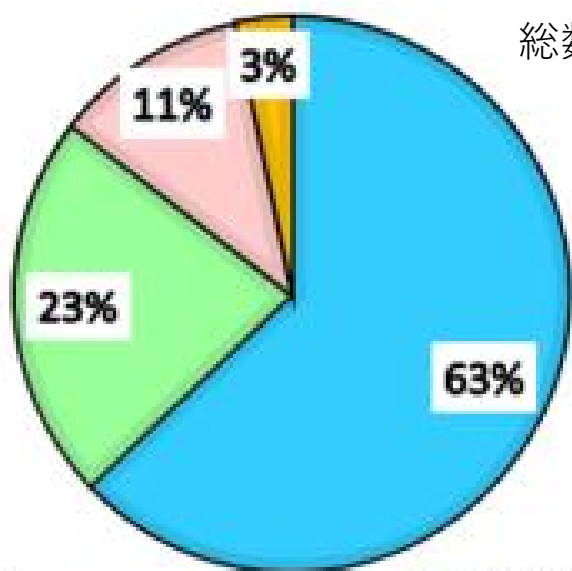


～問題文の状況をイメージし、課題を見いだすことで  
自力解決できる算数科指導の工夫～

(1) 本校の実態(事前アンケート) 児童対象6月実施

① 算数の勉強は好きだ。

総数：62名

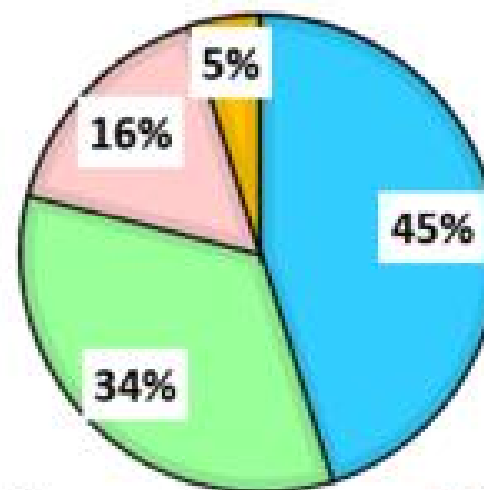


■あてはまる ■ややあてはまる  
■ややあてはまらない ■あてはまらない

①肯定的(53名) 否定的(9名)

② 自分の考えを進んで発表することができる。

総数：62名



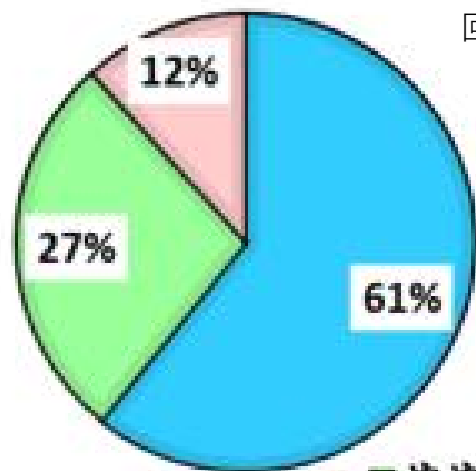
■あてはまる ■ややあてはまる  
■ややあてはまらない ■あてはまらない

②肯定的(49名) 否定的(13名)

## (1) 本校の実態(事前アンケート) 児童対象6月実施

③ 問題のわかっていることや聞いていることを見つけることができる。

回答：2～6年児童  
51名

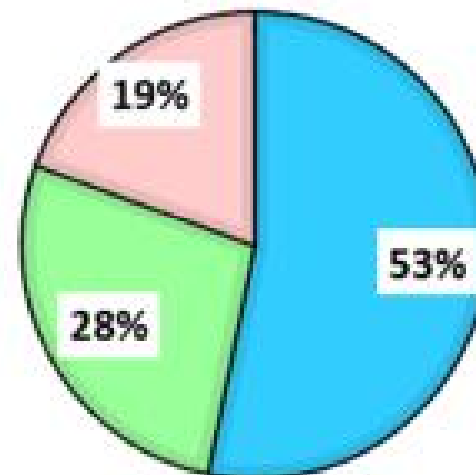


■あてはまる ■ややあてはまる  
■ややあてはまらない ■あてはまらない

③肯定的 (45名) 否定的 (6名)

④ 問題を見たときに、前の時間と比べてちがいやにしていることに気付くことができる。

総数：62名



■あてはまる ■ややあてはまる  
■ややあてはまらない ■あてはまらない

④肯定的 (50名) 否定的 (12名)

<以上の結果より>

- ・情意面の結果からは、算数の学習に対して意欲的に取り組んでいる児童が多いことがわかる。
- ・「見いだす」場面における、課題解決のための情報の読み取りに関して、肯定的に捉えている児童が多い。しかし、教師側の視点では、「問題文をイメージし、正しく読み取ること」において課題がある児童は多いと考える。

目指す児童像

主体的に課題解決のための情報を収集し、自分の考えをもつことができる児童。

令和7年度 仮説

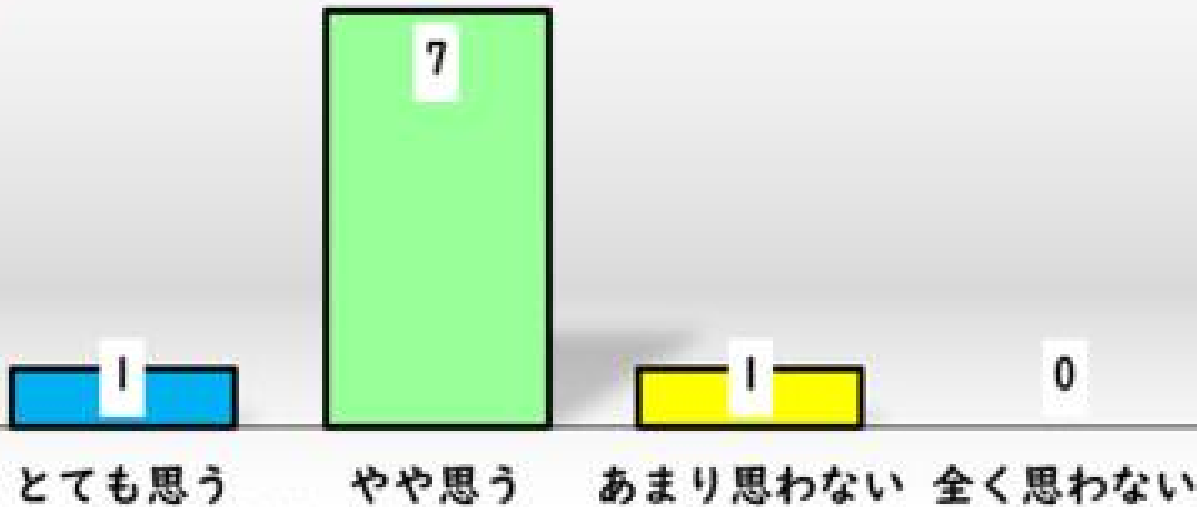
課題を「見いだす」場面において、個々に応じた手立てを工夫すれば、主体的に課題解決のために必要な情報を収集し、自分の考えを形成できるであろう。

(個別最適な学び)

## (2) 1年目の取組【見いだす場面】

見いだす場面では、児童が考えたくなる授業が増えたと思いますか。（前年度と比較して）

（教員対象アンケートより）



2年生



4年生

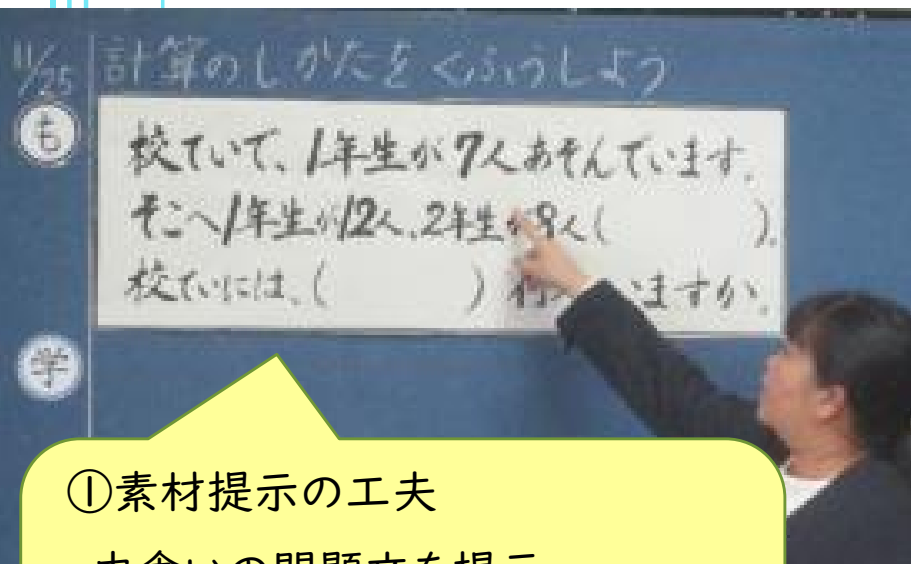
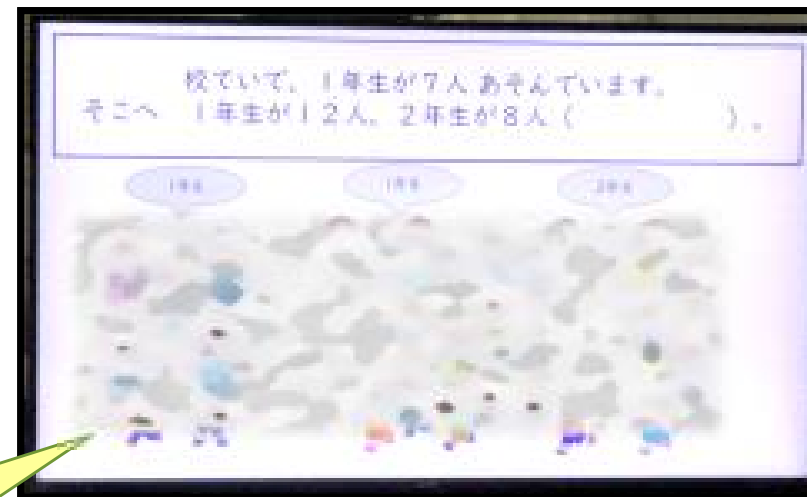
### 見いだす場面 ICTの活用

- ・プレゼンテーションソフト
- ・デジタル教科書
- ・実物投影機
- ・教科書の二次元コード
- ・タブレット（発表ノート）

## (2) 1年目の取組【2年生の実践】

### 校内研究授業

### 2年生「計算のしかたをくふうしよう」の授業より



#### ①素材提示の工夫

- ・虫食いの問題文を提示  
→立式する上で必要な言葉を押さえる。

#### ②問題文の状況をイメージするための工夫

- ・ICTを活用し、問題文と絵や図、矢印の意味を関連付け



## (2) 1年目の取組 【2年生の実践】

### 【成果】

- 問題文のイメージ化(仮説)については、プレゼンテーションソフト(ICT)の活用により、問題文と絵や図・矢印の意味を関連付けて、9割の児童が理解できていた。
- 事前に身近な問題に触れさせ、掲示し、振り返られるようにすることで、計算手順の理解につながった。

### 【課題】

- 自分の考えを形成しきることを重視したため、「自分で取り組む」場面に時間がかかってしまった。「広げ深める」場面で、児童のつまずきを共有し、友達と学び合うことで、さらに数学的な見方・考え方を深めていきたい。

## (2) 1年目の取組【4年生の実践】

### 校内研究授業

### 4年生「計算のやくそくをしらべよう」の授業より



#### ①素材提示の工夫1

・式と商品を提示

→問題文を穴埋め形式にし、  
場面の説明文を完成させる



#### ①素材提示の工夫2

・2つ目の問題場面を提示

→類似点・相違点の比較

②問題の状況をイメージする  
ための工夫

・2つの問題場面の類似点・  
相違点について考えさせるため  
の教師による実演



## (2) 1年目の取組【4年生の実践】

### 【成果】

- 「見いだす」場面において、場面絵の提示や教師が実演したことにより、児童が問題場面をイメージすることができた。
- 単元全体を通して、素材提示の際に具体物や図などを用いたことにより、問題を理解し、解決の見通しをもたせることができた。

### 【課題】

- 本時では、問題意識をもたせ、自力解決につなげることが十分ではなかった。本時の学習課題(2つの式で表される買い物の場面を1つの式に表す)を捉える動機付けのため、素材の提示内容や発問に工夫が必要であった。
- 「広げ深める」場面では、交流の仕方をさらに工夫したい。より考えを深めるために、話し合いの視点を明確化する必要がある。



## (2) 1年目の取組【加配教員の役割】

<本校での加配教員の役割>

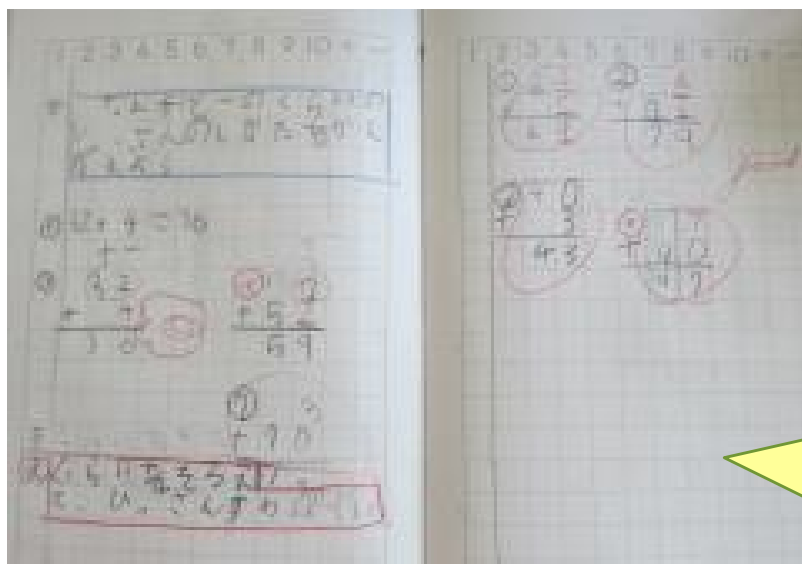
OT2として、支援が必要な児童を中心に個別の指導や補助を行う。



学級担任と連携し、支援が必要な児童を共通理解

<成果>

- ・児童が安心して授業に取り組み、自分の考えや計算方法等に自信をもてるようになった。



<2年生 ノート指導>

- ・児童のつまずきに合わせた個別指導

### (3) 研究の成果と課題

～事後アンケート 児童対象12月実施～

#### 1 問題のわかっていることや聞いていることを見つけることができる

回答：2～6年児童 51名

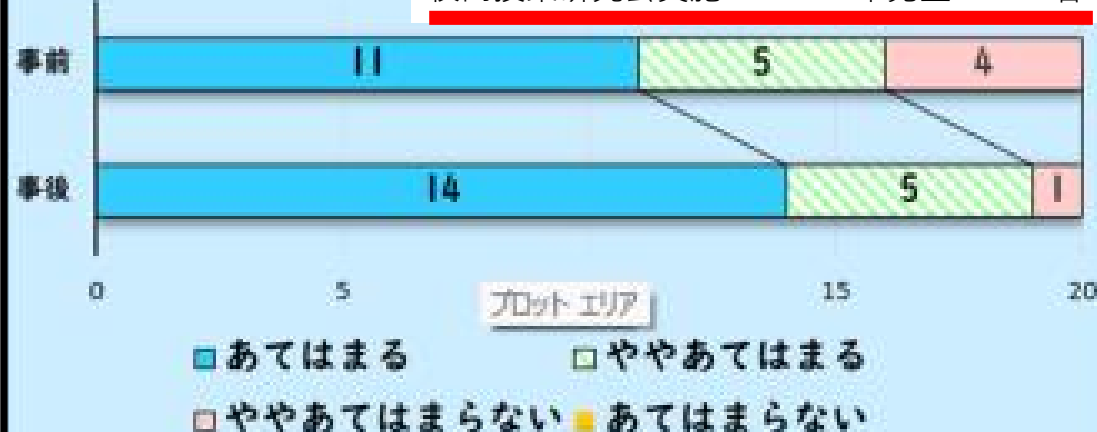


①肯定的 事前：88.2%  
事後：92.2%

### 見いだす場面の工夫の成果

#### 1 問題のわかっていることや聞いていることを見つけることができる。

校内授業研究会実施 2・4年児童 20名



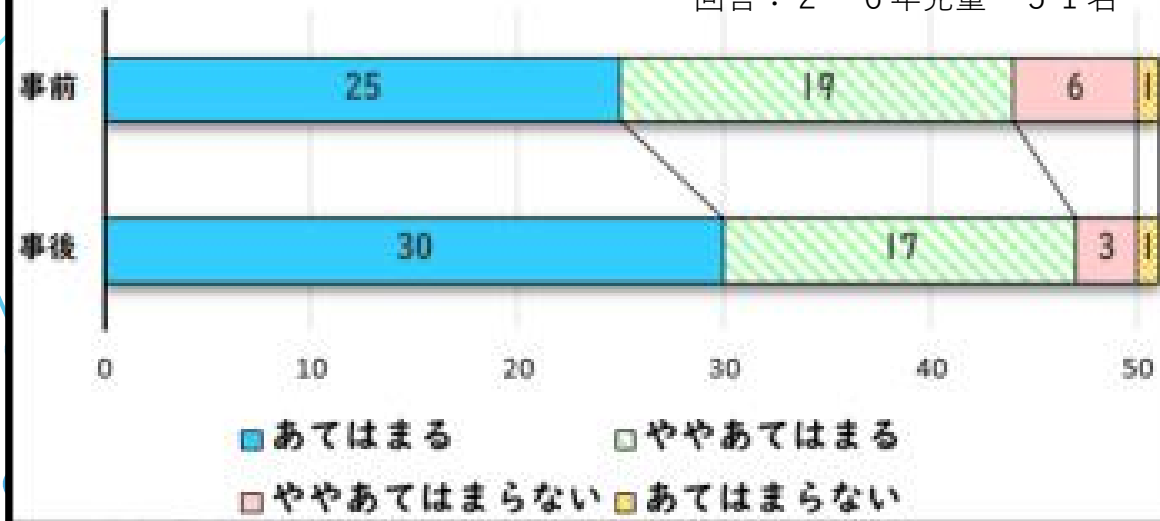
①肯定的 事前：16名 (80%)  
(20名中) 事後：19名 (95%)

### (3) 研究の成果と課題

～事後アンケート 児童対象12月実施～

#### 3 友達と話し合いをすることで自分の考えを深めたり新たな考えに気付いたりすることができる。

回答：2～6年児童 51名

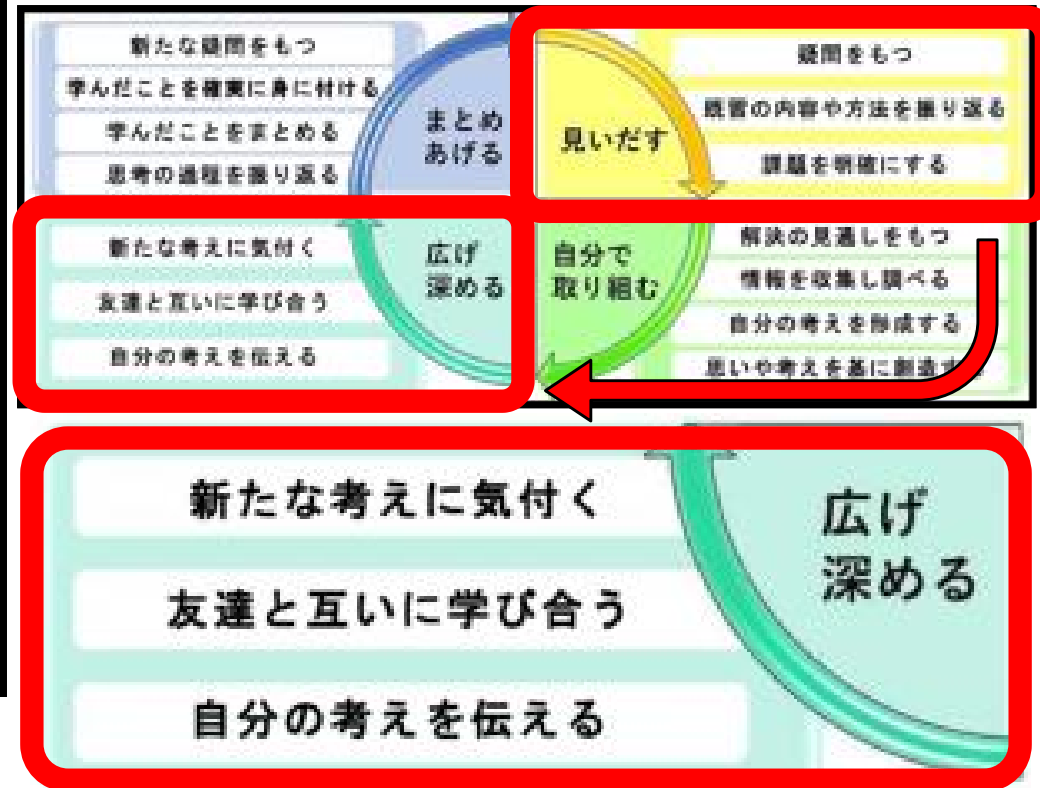


#### ① 肯定的

事前：86.2%

事後：92.2%

### 見いだす場面の工夫の成果



### (3) 研究の成果と課題

～事後アンケート（教員対象12月実施～）

<研究主題>「主体的に考え、思考・判断・表現をする子の育成」

今年度、算数の研究で「実践モデルプログラム」を柱に取り組んだことで、授業をする上で意識したことや意識が変容したことはありますか。

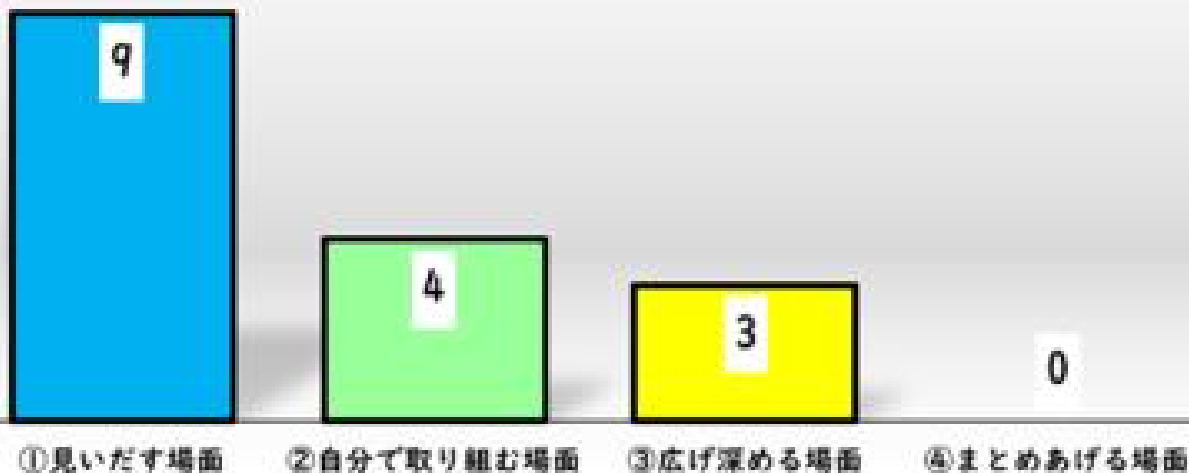


ある

0

ない

「実践モデルプログラム」を柱に取り組むにあたり、前年度よりも意識して指導にあたった場面はありますか。  
(複数回答可)



①見いだす場面

②自分で取り組む場面

③広げ深める場面

④まとめあげる場面

### (3) 成果と課題

#### 【成果】

- 素材の提示方法を工夫したことで、場面の状況をイメージしやすくなり、主体的に問題に取り組む児童が増えた。
- 「見いだす」場面において、本時の授業の課題がはっきりしたことで、自ら考え、見通しを立てて問題解決につなげることができる児童が増えた。
- 主体的に自分の考えをまとめることができたことで、「広げ深める」場面の友達との学び合いに対して、肯定的に捉える児童が増えた。

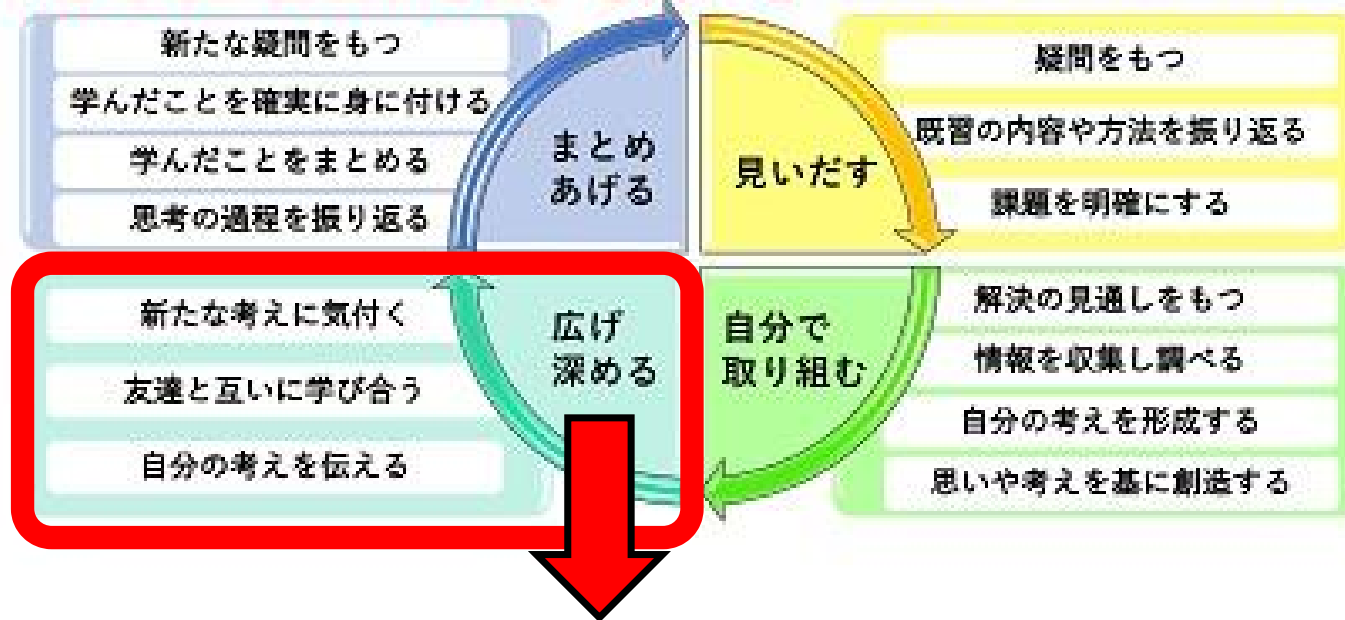
### (3) 成果と課題

#### 【課題】

- 児童の学習のスタートラインを揃えることを意識すると、「見いだす」場面において時間がかかるため、本時のねらいや単元全体のバランスを考え、授業を構想していく必要がある。
- 「広げ深める」場面において、児童の学び合いをより確かなものにするために、話し合いの仕方や話し合いの視点を明確にしていく必要がある。

## (4) 次年度の研究の方向性

### 「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラム



主体的に伝え合い、学び合うことのできる児童の育成